

公立野辺地病院

「令和2年度収支状況及び
令和3年度予算の概要」

■令和2年度収支見込み

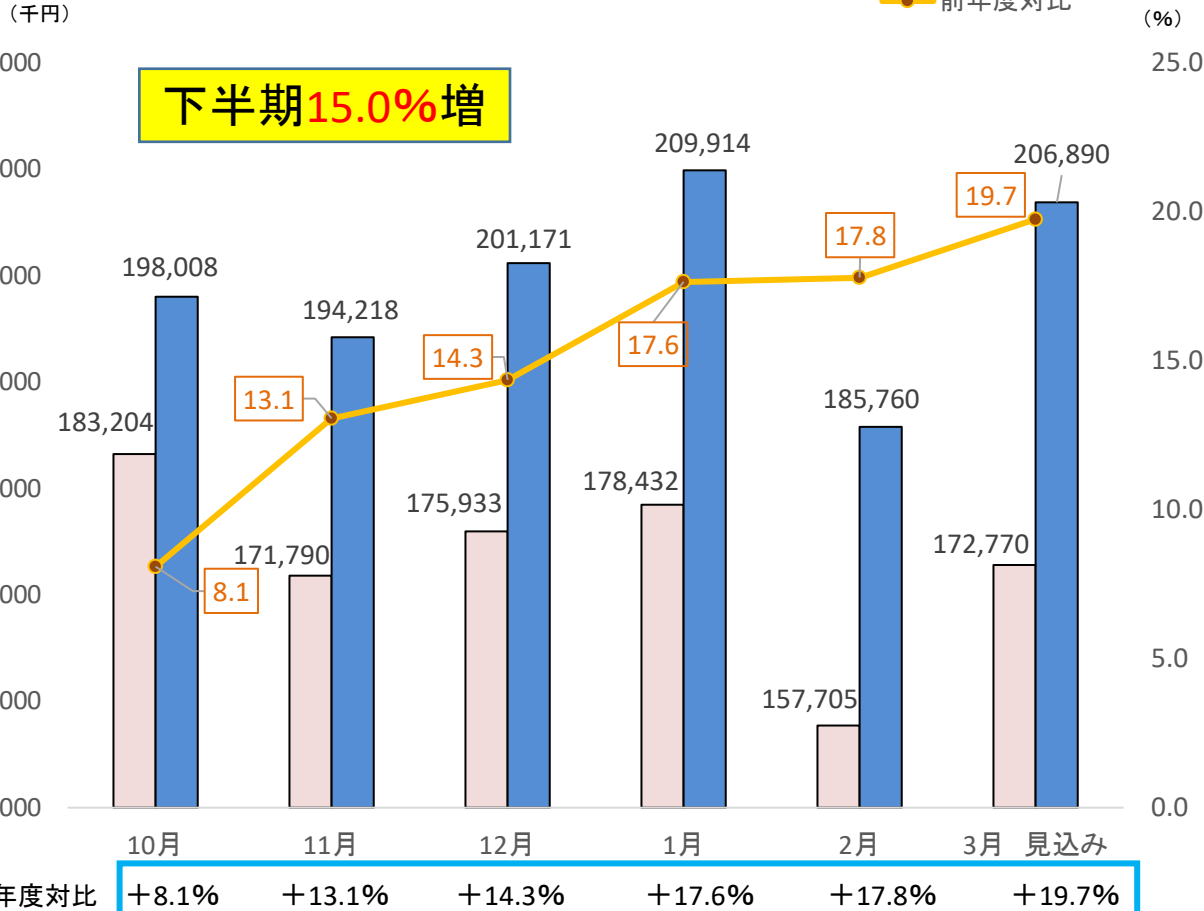
□令和3年度予算の概要

□その他

1. 令和2年度収支見込み（医業収入）

前年度同月比較（下半期）

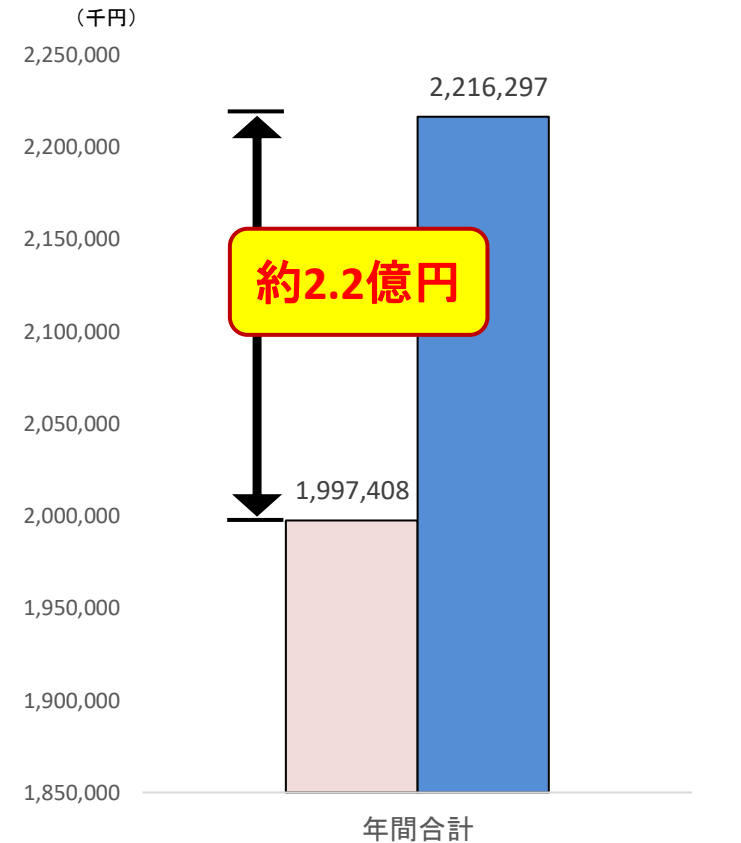
■ 前年度医業収入
■ 今年度医業収入
● 前年度対比



- ・全ての月において前年度比較で収入が上回る
- ・下半期では前年度比較**約1.56億円の増収**
(プラス 15.0%)

前年度年間比較

■ 前年度医業収入
■ 今年度医業収入



前年度比較**約2.2億円の増収**
(プラス 11.0%)

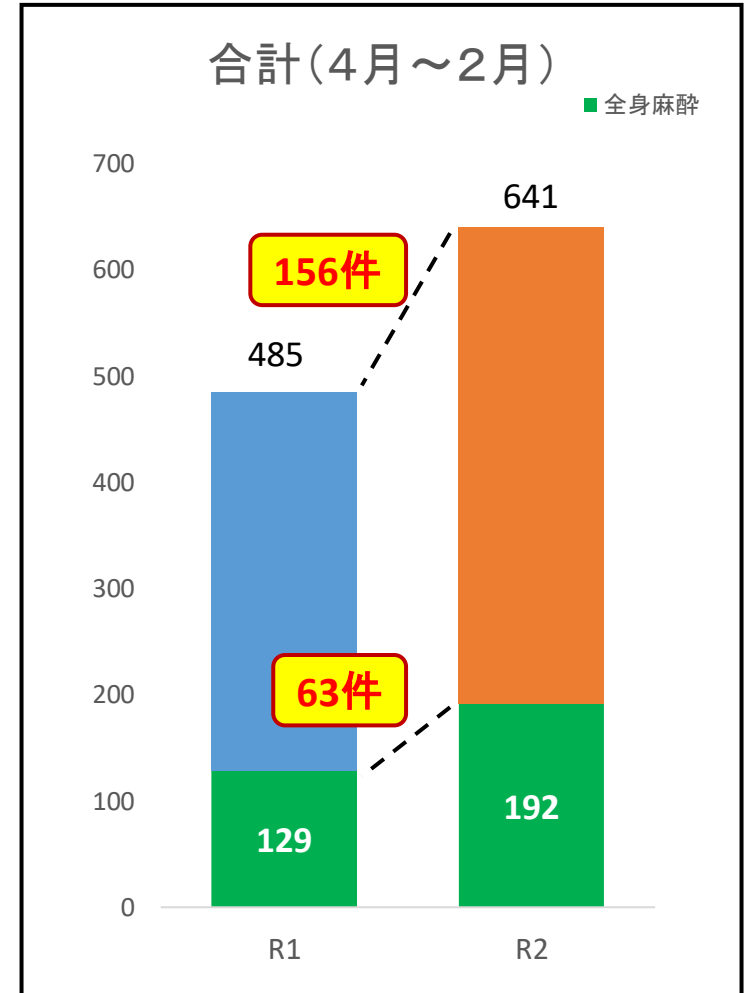
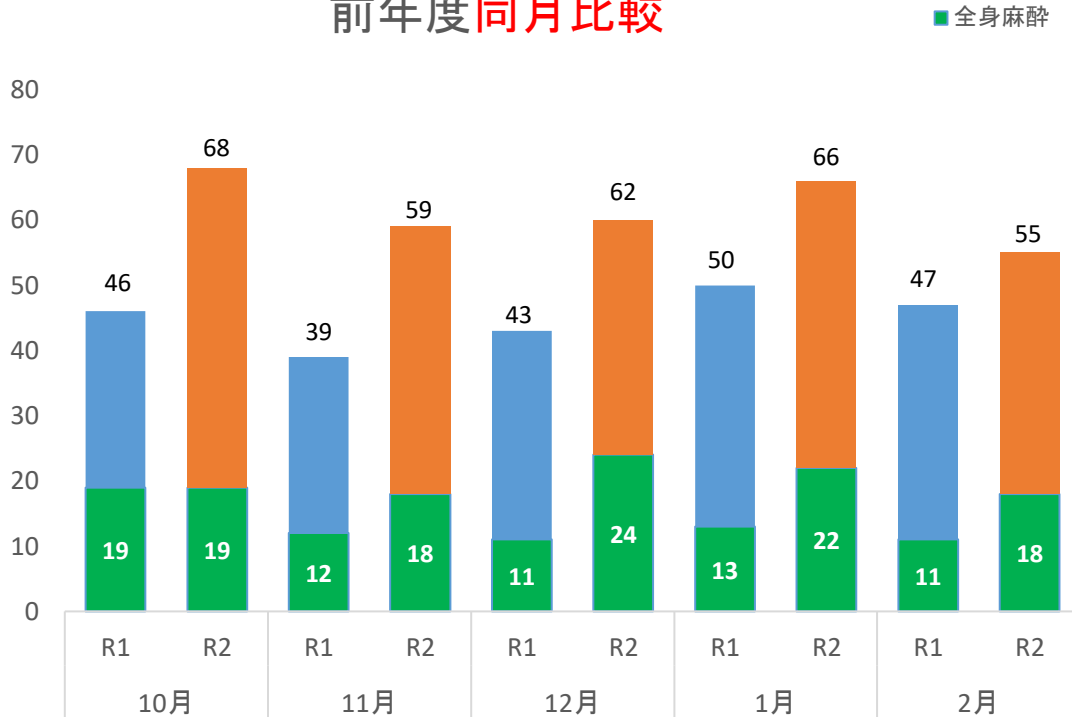
医業収支の改善の内訳

(1) 手術、全身麻酔件数

区分	10月	11月	12月	1月	2月	計
外科	10(6)	12(6)	15(11)	11(6)	10(7)	58(36)
整形外科	17(10)	23(11)	16(10)	20(13)	10(8)	86(52)
眼科	38(0)	23(0)	28(0)	32(0)	32(0)	153(0)
歯科口腔外科	3(3)	1(1)	3(3)	3(3)	3(3)	13(13)
計	68(19)	59(18)	62(24)	66(22)	55(18)	310(101)

()内は全身麻酔件数

前年度同月比較



前年度比較

手術件数**156件**の増(プラス32.2%)

全身麻酔件数**63件**の増(プラス48.8%)₃

医業収支の改善の内訳

(2) 施設基準の届出

① 新規届出項目

・栄養サポートチーム加算	2020年4月1日 算定開始
・療養病棟療養環境加算1	2020年6月1日 算定開始
・初診料 機能強化加算	2020年7月1日 算定開始
・夜間100:1急性期看護補助体制配置加算	2020年10月1日 算定開始
・看護職員夜間16:1配置加算	2020年10月1日 算定開始
・夜間看護体制加算	2020年10月1日 算定開始
・せん妄ハイリスク患者ケア加算	2020年12月1日 算定開始
・生活習慣病管理料の算定	

② 区分変更項目

・診療録管理体制加算1	2020年4月1日 算定開始
・後発医薬品使用体制加算3	2020年4月1日 算定開始
・入退院支援加算1	2020年4月1日 算定開始
・認知症ケア加算3	2020年4月1日 算定開始
・データ提出加算2及び4	2020年4月1日 算定開始
・後発医薬品使用体制加算2	2020年9月1日 算定開始
・医師事務作業補助体制加算	2021年3月1日 算定開始

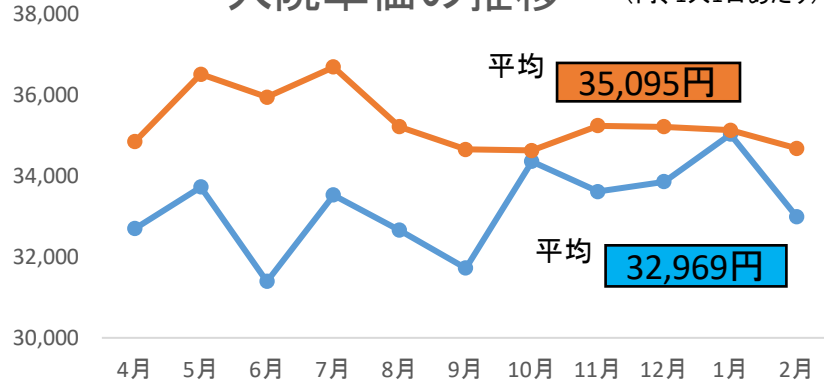
医業収支の改善の内訳

(3) 入院・外来患者数及び単価

※2月末現在

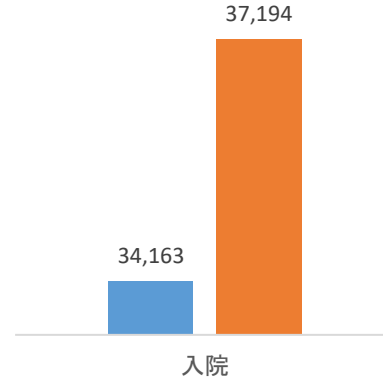
入院単価の推移

● R1 ● R2
 (円、1人1日あたり)



入院患者数

■ R1 ■ R2



1人あたり入院単価 **2,126円(6.4%)の増**

入院延べ患者数
約3,000人(8.9%)の増

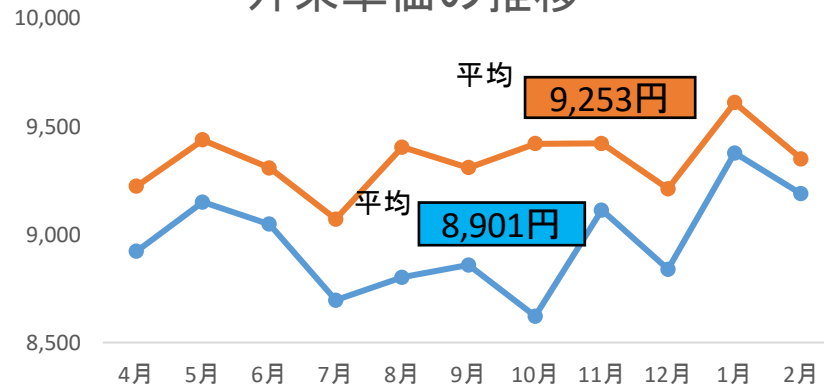
- ①手術・全身麻酔の増
- ②診療単価の増
- ③入院延べ患者数の増



約2.2億円の増収

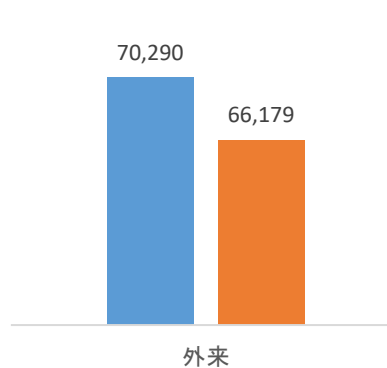
外来単価の推移

● R1 ● R2



外来患者数

■ R1 ■ R2



1人あたり外来単価 **352円(4.0%)の増**

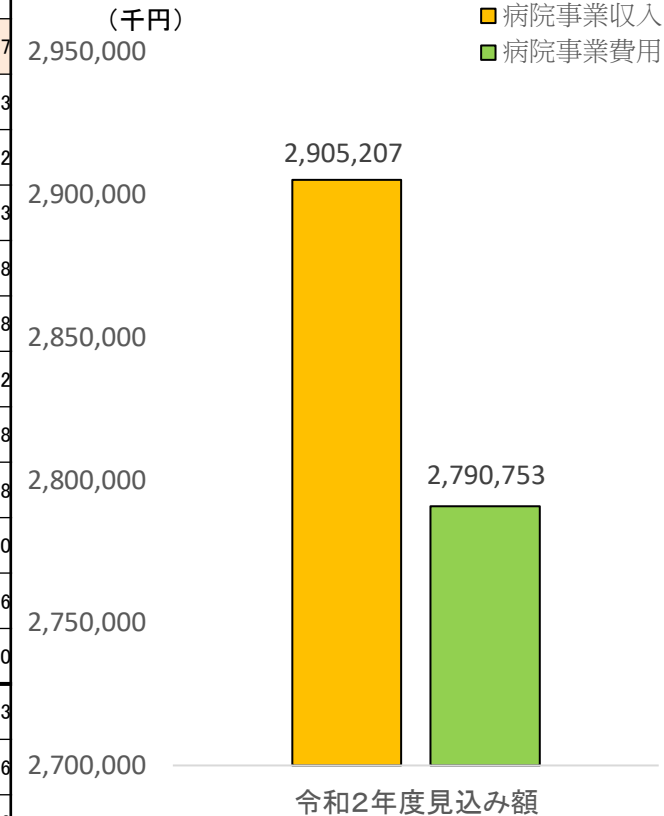
外来延べ患者数
約4,000人の減(△5.8%)

2. 令和2年度収支見込み（経常収支）

(単位:千円)

区 分	上半期合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期合計	年間合計
1 病院事業収益	1,348,239	324,853	199,993	206,815	302,542	297,605	225,160	1,556,968	2,905,207
※医業収入	1,020,336	198,008	194,218	201,171	209,914	185,760	206,890	1,195,961	2,216,297
(1) 医業収益	1,137,467	239,361	191,317	197,979	252,007	182,960	203,882	1,267,506	2,404,973
入院収益	633,240	121,881	123,227	126,813	142,127	123,336	130,108	767,492	1,400,732
外来収益	329,487	61,375	57,096	57,280	54,414	51,879	65,392	347,436	676,923
その他医業収益	174,740	56,105	10,994	13,886	55,466	7,745	8,382	152,578	327,318
(2) 医業外収益	164,727	81,886	5,775	5,644	47,671	111,845	18,270	271,091	435,818
他会計補助金・負担金	124,588	41,530	0	0	41,532	0	△ 898	82,164	206,752
国県補助金	0	35,085	0	0	0	106,169	13,554	154,808	154,808
その他	40,139	5,271	5,775	5,644	6,139	5,676	5,614	34,119	74,258
(3) 訪問看護ステーション収益	13,087	2,810	2,007	2,317	2,051	1,979	2,219	13,383	26,470
(4) 居宅介護支援事収益	4,658	796	894	875	813	821	789	4,988	9,646
(5) 特別利益	28,300	0	0	0	0	0	0	0	28,300
2 病院事業費用	1,201,504	235,624	173,991	356,299	183,813	194,282	445,240	1,589,249	2,790,753
(1) 医業費用	1,175,164	204,303	170,960	347,297	181,380	191,584	393,908	1,489,432	2,664,596
(2) 医業外費用	6,859	125	113	107	100	93	44,829	45,367	52,226
(3) 訪問看護ステーション費用	14,075	2,057	2,112	6,609	1,510	1,723	4,626	18,637	32,712
(4) 居宅介護支援事業所費用	5,406	839	806	2,286	823	882	1,877	7,513	12,919
(5) 特別損失	0	28,300	0	0	0	0	0	28,300	28,300
損 益	146,735	89,229	26,002	△ 149,484	118,729	103,323	△ 220,080	△ 32,281	114,454

令和2年度経常収支比較



見込み

令和2年度経常黒字約1.14億円

※3月は見込み額

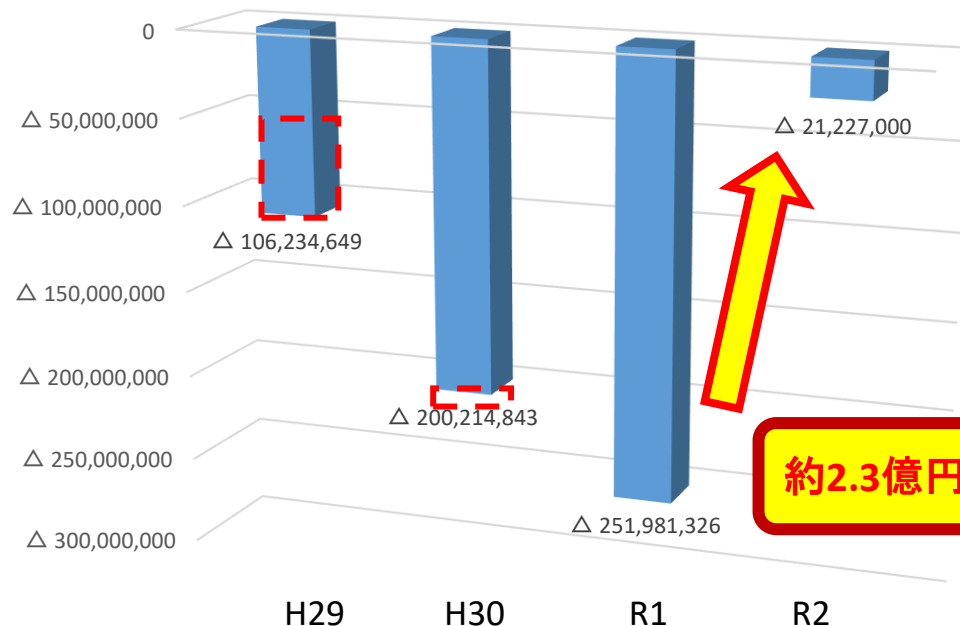
2. 令和2年度収支見込み（経常収支）

◇新型コロナウイルス補助金を除いた場合

(単位:千円)

区 分	年間合計	年間合計
1 病院事業収益	2,905,207	2,769,526
※医業収入	2,216,297	2,216,297
(1) 医業収益	2,404,973	2,404,973
入院収益	1,400,732	1,400,732
外来収益	676,923	676,923
その他医業収益	327,318	327,318
(2) 医業外収益	435,818	300,137
他会計補助金・負担金	206,752	206,752
国県補助金	154,808	19,127
その他	74,258	74,258
(3) 訪問看護ステーション収益	26,470	26,470
(4) 居宅介護支援事収益	9,646	9,646
(5) 特別利益	28,300	28,300
2 病院事業費用	2,790,753	2,790,753
(1) 医業費用	2,664,596	2,664,596
(2) 医業外費用	52,226	52,226
(3) 訪問看護ステーション費用	32,712	32,712
(4) 居宅介護支援事業所費用	12,919	12,919
(5) 特別損失	28,300	28,300
損 益	114,454	△ 21,227

年度別経常収支



※収支比較のため介護療養型老人保健施設の収支を除いたもの
※参考

┌─┐ 介護療養型老人保健施設の収支分
(H29 55,052千円 H30 △4,819千円)

☆過去3年に比べ飛躍的な収支の改善
☆介護療養型老人保健施設事業廃止前と比較しても経常収支が上回る

3. 資金不足額解消の見通し

(単位: 千円、%)

	令和元年度	令和2年度 見込み	令和3年度 見込み
流動資産 ①	570,171	429,110	439,069
流動負債 ②	1,017,070	687,765	434,749
企業債 ③	146,219	132,006	84,643
資金不足額 ④=②-①-③	300,680	126,649	0
地財法による資金不足比率	13.9	5.2	0
健全化法による資金不足比率	4.3	0	0

- ・令和2年度見込みにおいて**健全化法**による資金不足額は**解消**
- ・令和3年度見込みにおいては**資金不足額の解消**

(参考)

令和2年度決算見込み (県内自治体病院との比較)

- 青森県自治体病院開設者協議会がとりまとめたデータ
(R2.12月時点見込み・R3.2月公表)を基に作成
- 病院数は、県病を含む23自治体病院

(1) 経営状況

	2年度見込	元年度実績	増 減	備 考
病院数	23	23		
黒字病院数	8	11	▲3	野辺地病院含む
赤字病院数	15	12	3	
資金不足を有する病院数	10	10		野辺地病院含む

	黒 字	赤字から黒字へ (野辺地病院)	黒字から赤字へ	赤 字	計
病院数	4	4	7	8	23

	医業損益改善	うち医業収益増収	繰入金減少
赤字から黒字となった4病院	3	2	2
野辺地病院はいずれも該当			

(2) 診療実績

① 入院患者の動向(1日平均患者数で比較)

	病床数	2年度見込	元年度実績	増減率
野辺地病院	151床	107人/日	101人/1日	105.9

【入院】

- 野辺地病院の場合、前年度に比較して約6%の割合で増加。
- 県内23自治体病院中、増加見込となっているのは、野辺地病院を含む3病院。
- 全体として、コロナの影響で12%(単純平均)の減。

② 外来患者の動向(1日平均患者数で比較)

	2年度見込	元年度実績	増減率
野辺地病院	305人/1日	318人/日	95.9

【外来】

- 野辺地病院の場合、前年度に比較して約4%の割合で減少。
- 県内23自治体病院中、増加見込となっているのは、1病院。(22病院が減少)
- 全体として、コロナの影響で10%(単純平均)の減。

◆入院に係る同規模病院(約100~250床)との比較

○ 令和元年度実績と2年度見込みを比較

	医業収益 (千円)	入 院			
		1日平均 患者数(人)	増減率 (%)	診療単価 (円)	増減率 (率)
公立野辺地	176,640	107 (74.4%)	5.9	34,552	7.4
A病院	23,809	79 (82.3%)	▲1.3	28,854	3.0
B病院	▲71,204	46 (64.9%)	▲17.9	30,033	15.8
C病院	▲87,389	61 (57.1%)	▲12.9	29,729	2.9
D病院	▲117,851	178 (69.2%)	▲2.7	43,352	2.2
E病院	▲130,261	57 (52.0%)	▲13.6	42,764	10.9
F病院	▲160,739	69 (69.4%)	▲11.5	27,697	0.6
G病院	▲294,654	66 (26.3%)	▲16.5	37,385	0.3
H病院	▲370,518	83 (50.3%)	▲23.9	33,260	4.6

※1. 順番は前年度比較で増収額が多い病院の順番に記載。

2. 1日平均患者の()は病床利用率。

◆外来診療に係る同規模病院(約100~250床)との比較

○ 令和元年度実績と2年度見込みを比較

	医業収益 (千円)	外 来			
		1日平均患者 数(人)	増減率 (%)	診療単価 (円)	増減率 (率)
公立野辺地	176,640	305	▲4.1	9,196	4.4
A病院	23,809	106	▲6.2	7,528	8.0
B病院	▲71,204	186	▲12.7	17,380	4.1
C病院	▲87,389	191	▲3.5	8,475	▲0.4
D病院	▲117,851	404	▲6.3	9,801	▲2.5
E病院	▲130,261	197	▲22.7	7,526	13.8
F病院	▲160,739	157	▲12.3	7,163	6.1
G病院	▲294,654	198	▲19.8	15,406	9.2
H病院	▲370,518	235	▲15.2	6,425	6.1

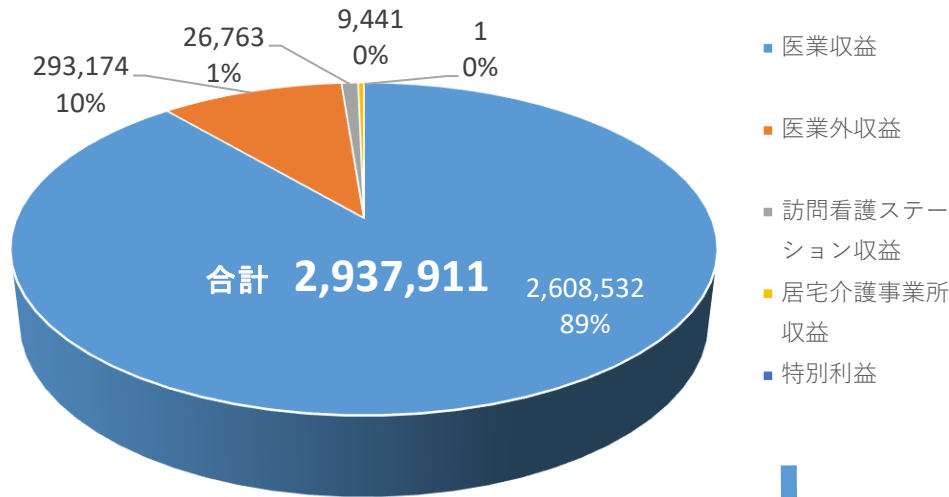
□令和2年度収支見込み

■令和3年度予算の概要

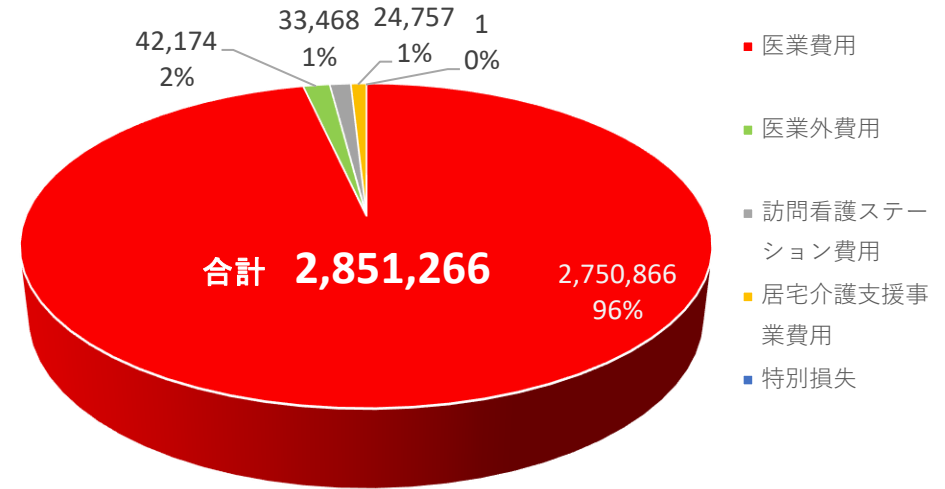
□その他

令和3年度 当初予算概要

病院事業収益



病院事業費用



86,645千円の黒字予算

前年度比較 **214,081千円の増(7.9%)**

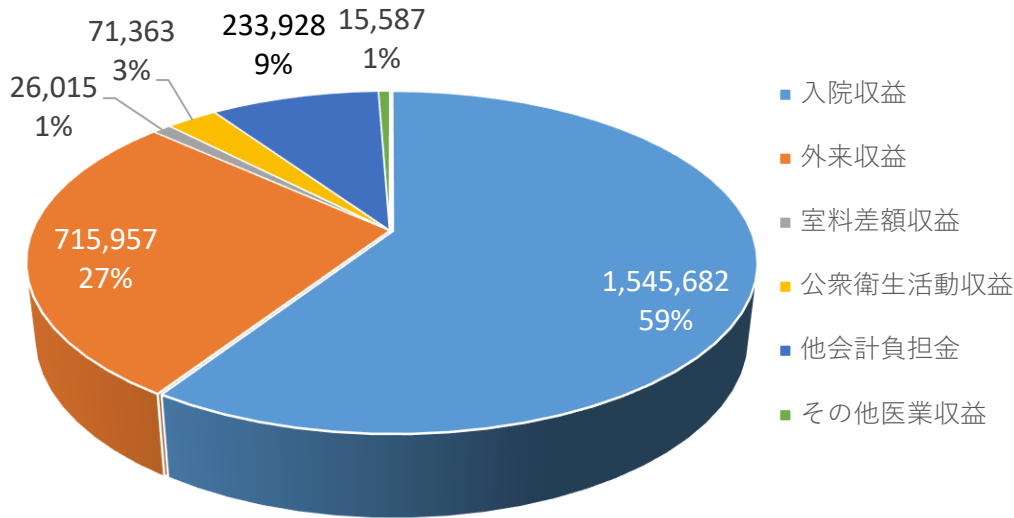
前年度比較 **45,308千円の増(1.6%)**

令和2年度当初予算額	2,723,830千円
令和2年度見込み額	2,905,207千円

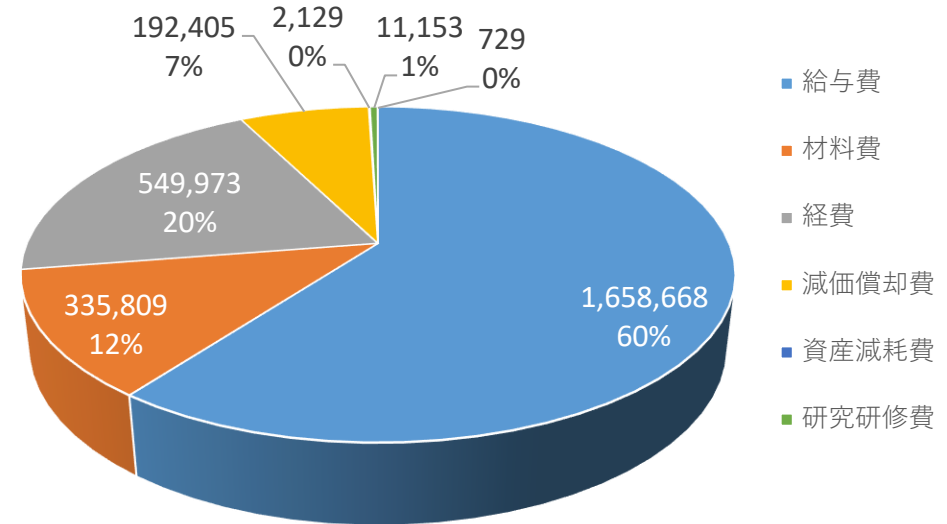
令和2年度当初予算額	2,805,958千円
令和2年度見込み額	2,790,753千円

令和3年度 当初予算概要

医業収益内訳



医業費用内訳



前年度比較

- ・入院収益 **10.5%の増**
- ・外来収益 **3.3%の増**
- ・室料差額収益 **58.6%の増**
- ・公衆衛生活動収益 **14.8%の増**

前年度比較

- ・給与費 ※ **2.8%の増**
- ・材料費 **3.2%の減**
- ・経費 **1.1%の減**
- ・減価償却費 **4.6%の増**
- ・研究研修費 **21.6%の増**

※ 猶予していた退職手当負担金を当初予算に計上 → 約9,100万円
 (延滞金約780万円の支払いは必要なし)

1. 予算編成方針

(1) 人材の確保

1. 専門性の向上

- ・認定看護師等の養成に向けて、病院側がバックアップする体制

研修費用や宿泊費用を**全額補助**

2. 職員の採用

- ・10月に行った採用試験にて採用

管理栄養士**2名**、作業療法士**1名**、理学療法士**1名**

- ・会計年度任用職員の能力を評価した採用

診療情報管理士**1名**

(2) 職員一人ひとりの生産性の向上

1. 人事評価の実施

- ・目標を設定のうえ、業績等を考慮 → 昇給及び期末・勤勉手当で評価

2. 職員の効率的配置による適正化

- ・会計年度任用職員数を事務量に応じて最適化 → 医療事務手等 45名→31名

1. 予算編成方針

(3) 職員手当等の拡充

看護師の人材確保及び適正化による手当の拡充・助成金の新設等の改正

・修学資金貸付金(看護師)	50,000円	→	100,000円	50,000円 UP
・認定看護師手当	3,000円	→	20,000円	17,000円 UP
・夜間看護手当				
深夜の全部を含む勤務	6,200円	→	7,000円	800円 UP
深夜における勤務 4時間以上	3,300円	→	3,400円	100円 UP
深夜における勤務 2～4時間	2,900円	→	3,000円	100円 UP
深夜における勤務 2時間未満	2,000円	→	2,100円	100円 UP
・夜間看護専従手当	5,000円	→	5,800円	800円 UP

等

☆不足している必要職種確保の為、新規手当及び助成金を検討中

- ・放射線手当
- ・地域保健医療業務手当
 - 巡回診療、委託契約診療
 - 野辺地ホームの委託契約診療

廃止

1. 予算編成方針

(4) 特別交付税を活用した構成町村の財政負担軽減 **(推計値)**

令和2年度に新設の「不採算地区中核病院運営に係る特交」を活用し、
財政負担の軽減

◆ 令和3年度算定予定額

(単位: 千円、%)

	構成町村繰出額 ①	交付税額			比率 ②/①
		普通交付税	特別交付税	合計 ②	
令和2年度	572,032	202,873	31,553	234,426	41.0
令和3年度	568,458	197,989	75,411	273,400	48.1
差	△ 3,574	△ 4,884	43,858	38,974	7.1

◆ 町村別前年度比較

(単位: 千円)

	交付税額		交付税による 財政負担軽減
	令和2年度	令和3年度	
野辺地町	175,679	204,859	29,180
横浜町	28,553	33,382	4,829
六ヶ所村	30,194	35,159	4,965
計	234,426	273,400	38,974

繰出額

・全体で**3,574千円の減**

交付税措置

・全体で**38,974千円の増(7.1%)**

(令和3年度負担率 野辺地町74.93% 横浜町12.21% 六ヶ所村12.86%)

2. 経営健全化に向けた取組推進

(1) 収益確保や費用の効率的執行をさらに推進させるため、下記対策を実施予定

① 病棟の再編成 → 看護師確保の条件が整えば、大幅な増収益の確保可能

従 前			再 編 後		
	病床機能	病床数		病床機能	病床数
南1階	療養	31床	南1階	地ケア	31床
南2階	急性期	17床	南2階	障害者	60床
	地ケア	43床		急性期	60床
南3階	急性期	60床	合計		151床
合計		151床			

② 診療報酬加算の取得

さらなる単価アップのため認知症ケア加算、外来の各種指導・管理料算定

目標 入院 +5,000円 外来 +500円 (1人1日あたり)

	入 院	外 来
令和2年度実績 (4~1月)	2,000円アップ (33,000円 → 35,000円)	300円アップ (8,900円 → 9,200円)

③ 材料費や経費は、入札やプロポーザルを活用し、さらなる値引率の向上を目指す

3. 新規事業の概要

(1) 患者に優しい病院づくり

1. 病院に人を集める仕組みづくり

- ① 敷地内薬局の整備予定
- ② 病院内に高齢者等が集えるスペースの整備
→ 情報発信、検診への誘導

2. 検診率アップに向けた検診センターの充実

- ・検診費用の実質無料化事業

(2) 非常勤医師の招聘

1. 麻酔科専門医の招聘

- ・手術、全身麻酔件数増加の実績を鑑み引続き招聘

2. その他診療科医の招聘

- ・必要な診療科の医師の確保に努める

4. その他

(1) 累積欠損金の解消

- ・収支の改善により資金不足額を解消するとともに、今後、資本金(繰入資本金)を取崩し、累積欠損金の一部を解消することも検討。

(2) 病院建替に向けた検討

- ・施設老朽化から、今年度において、多くの施設・設備の修理、改修事例が発生。
- ・経営健全化と併行して、組合議会等で議論する必要あり。

□令和2年度収支見込み

□令和3年度予算の概要

■その他

新型コロナウイルス補助金

①新型コロナウイルス感染症対策設備等整備事業費

22,501,000円（県・10月交付済）

- ・人工呼吸器
- ・電動ベッド
- ・個人防護具

11,000,000円（県・1月交付済）

- ・超音波画像診断装置

②新型コロナウイルス感染症入院患者病床確保事業費

17,584,000円（県・10月交付済）

106,169,000円（県・2月交付済）

11,928,000円（県・3月末交付見込み）

※参考 **重点医療機関に指定**

1日1床あたり 16,000円 → 71,000円

新型コロナウイルス補助金

- ③救急・周産期・小児医療機関院内感染防止対策事業費
40,000,000円（県・10月交付済）
- ④インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業費
20,000,000円（国・2月申請済）
- ⑤インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保事業費
4,195,000円（国・2月申請済）

総額

233,377,000円